

<平成27年度 地球温暖化対策実行計画の施策実施状況の公表について>

地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3第10項の規定に基づき、岩手沿岸南部広域環境組合の地球温暖化対策実行計画の施策実施状況を以下のとおり公表します。

平成28年8月5日

岩手沿岸南部広域環境組合
管理者 釜石市長 野田武則

1. 温室効果ガス排出量

年 度	温室効果ガス排出量	前年度比	目標年度比
平成23年度（基準年度）	22,988 t (CO ₂)	—	—
平成24年度	26,126 t (CO ₂)	113.65%	119.64%
平成25年度	25,589 t (CO ₂)	97.94%	117.18%
平成26年度	20,147 t (CO ₂)	78.73%	92.26%
平成27年度	19,251 t (CO ₂)	95.55%	88.15%

目標年度（平成28年度）温室効果ガス排出量＝21,838 t (CO₂)

※平成23年度（基準年度）の5%削減を目標

平成27年度は、目標年度の温室効果ガス排出量を達成することが出来ました。

2. エネルギー使用量の目標達成状況

種 別	平成23年度 (基準)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
コークス (t)	2,520	3,048	2,715	1,789
A重油 (KL)	270	272	266	217
昼間電力(千kwh)	433	231	235	213
夜間電力(千kwh)	296	156	148	147
軽油 (L)	3,000	4,500	4,400	3,300

種 別	平成27年度	前年度比
コークス (t)	1, 689	94. 41%
A重油 (KL)	239	110. 14%
昼間電力(千kwh)	171	80. 28%
夜間電力(千kwh)	123	83. 67%
軽油 (L)	3, 200	96. 97%

種 別	平成28年度 (目標)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
コークス (t)	2, 394	3, 048	2, 715	1, 789
A重油 (KL)	256	272	266	217
昼間電力(千kwh)	411	231	235	213
夜間電力(千kwh)	281	156	148	147
軽油 (L)	2, 850	4, 500	4, 400	3, 300

種 別	平成27年度	目標年度比
コークス (t)	1, 689	70. 55%
A重油 (KL)	239	93. 36%
昼間電力(千kwh)	171	41. 61%
夜間電力(千kwh)	123	43. 77%
軽油 (L)	3, 200	112. 28%

3. 温室効果ガス排出量が減少した要因等について

(1) ごみ量の減少

平成27年度の温室効果ガス排出量が平成26年度と比較して減少したひとつの要因は、ごみ量の減少が上げられます。

震災により減少した通常生活ごみは、震災前の水準に戻りつつあり、若干減少しました。

年 度	通常生活ごみ	災害ガレキ	合 計
平成23年度	27, 733 t	7, 699 t	35, 432 t
平成24年度	30, 107 t	11, 359 t	41, 466 t
平成25年度	31, 453 t	10, 382 t	41, 835 t
平成26年度	32, 624 t	978 t	33, 602 t
平成27年度	32, 610 t	0 t	32, 610 t

(2) エネルギー使用量の減少（バイオマス燃料使用の取り組み）

平成27年度は、平成26年度と同様に温室効果ガスの対策として、バイオマス燃料（木質チップ）を使用して、大きな成果を上げました。

バイオマス燃料の使用により、コークスの使用量が減少し、ごみ量の減少と併せて平成28年度の目標を達成することが出来ました。

4. 今後の対応

今後は、今まで増加（震災前に戻った。）してきたごみ量も落ち着きを見せ、徐々に減少に転じるものと思われます。そのためCO₂発生量も抑制されるものと期待されますが、バイオマス燃料のより効果的な活用を図り、更なる燃料等の節約に努め、前年度の実績を下回るように努力してまいります。